【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】令和5年3月27日(2023.3.27)

【国際公開番号】WO2022/024682
【出願番号】特願2022-540111(P2022-540111)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｋ 17/06(2006.01)
Ｈ０２Ｋ 13/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｋ 17/06 Ｊ
Ｈ０２Ｋ 13/00 Ｐ

【手続補正書】
【提出日】令和5年1月12日(2023.1.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
スリットはブラシ摺接面の周辺部の少なくとも1か所に設けておけば、本件発明は達せられる。例えば、ブラシ摺接面が四角形状の場合、その一辺に達するスリットを設けておけばよい。また、スリットはブラシ摺接面の周辺部からもう一方の周辺部に達しなくともよい。即ちスリットは、開口（スリットの両端部がブラシ摺接面の異なる２辺に達するもの）、閉口（スリットの一端部のみが摺接面の辺に達するもの）、若しくは開口と閉口の組み合わせの何れかでもよい。スリットが開口形状であれば、摺接面に油膜を形成しかけた液体（流体）をより排出しやすくなり、絶縁性の液体（流体）による絶縁膜の形成を削減することができる。さらにまた、スリットの開口は３箇所以上でもよく、例えば碁盤目状にスリットを設けると、摺接面から絶縁性の液体をより容易に排出できる。